

## —お知らせ—

**サマーワークショップ「Picture Happiness on Earth」講師決定  
7月19日(火)まで参加者を募集中**

にっぽんかがくみらいかん  
日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利 衛)が2016年8月19日(金)から開催するサマーワークショップ「Picture Happiness on Earth」の講師が決定し、参加者を7月19日(火)まで募集しています。

講師(2ページ目を参照)は、本ワークショップのレクチャーを通して、参加者のコンテンツの制作をサポートします。参加者は多彩な講師と一緒に、映像の演出や技術、球体ディスプレイのしくみやデータ分析など、地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」に映し出す映像コンテンツの制作で必要な知識を習得したり、スキルを磨くことができます。

「Picture Happiness on Earth」は、「幸せってなんだろう？」をテーマに、アジア・太平洋地域のこどもたちと、日本の女子中高生がコラボレーションし、世界に1つしかない直径6メートルの地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」(※1)に映し出すコンテンツをつくりあげるワークショップです。また11月にはその成果の発表を行います。今世紀末には世界の人口は100億人に達するといわれています。100億人が「幸せ」に暮らす未来を実現するために、いったい何が必要なのでしょう？本ワークショップでは、科学データを使った論理的な考え方、伝え方を通して、参加者のみなさんがお互いの価値観を共有し、100億人が暮らす地球の幸せのかたちを一緒に探っていきます。

**【イベント概要】**

**タイトル** サマーワークショップ「Picture Happiness on Earth」  
**開催日時** ワークショップ  
[日程A] 2016年8月19日(金)、20日(土)、27日(土)各日 10:00~18:00  
[日程B] 2016年8月19日(金)、21日(日)、28日(日)各日 10:00~18:00  
[日程C] 2016年8月19日(金)、22日(月)、29日(月)各日 10:00~18:00  
**プレゼンテーション**  
2016年11月19日(土)、20日(日)(全日程共通)  
**定員** 90名程度(先着順)  
**対象** 中学生・高校生、もしくは13~18歳の女子(※2)  
**応募方法** 下記URLから応募フォームに必要事項を入力の上、応募ください。  
**料金** 無料(ただし、会場への交通費や昼食代など、参加に要する費用は各自のご負担となります。)  
**申込締切** 2016年7月19日(火)24:00  
**会場** 日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)  
**主催** 日本科学未来館  
**協賛** ブルームバーグ L.P.  
**詳細URL** <http://www.miraikanjst.go.jp/info/1606021220044.html>

申込に関するお問い合わせ先	本リリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 「Picture Happiness on Earth」担当 summerworkshop@miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: <a href="mailto:press@miraikanjst.go.jp">press@miraikanjst.go.jp</a> TEL: 03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150

## 講師の紹介



**山本 信一**(オムニバスジャパン株式会社ディレクター／モーショングラフィックアーティスト)  
モーショングラフィックのみならず、CG や音楽をトータルに演出し、映像を制作。大型映像や、球体に映し出す映像の制作を得意とし、未来館の地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」のコンテンツ「軌跡～The Movement」のディレクションや、3Dドームシアター「9次元からきた男」のビジュアル・ディレクターを担当。アメリカ放送デザイン賞 promaxBDA(2008年)、文化庁メディア芸術祭(2007年、2009年)を受賞。本ワークショップでは、球体映像の演出などについてレクチャーを担当する。



**鳴川 肇**(慶應義塾大学 SFC 環境情報学部准教授)  
模型による立体幾何学的検証を軸に、社会のニーズにどう応用できるかを探求。美術、デザイン、エンジニアリングなど、幅広い分野にわたり活動を展開している。  
1999年、面積比をほぼ等しく表現できる新たな世界地図「オーサグラフ」を考案。未来館の地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」や「ジオ・パレット」「ジオ・スコープ」でも採用され、その基本設計、実施監修を担当した。本ワークショップでは、球体をいかに平面化するか、幾何学の楽しさと奥深さについてレクチャーを担当する。



**河上 裕紀**(株式会社オムニバス・ジャパン / モーショングラフィックアーティスト)  
映画やドラマのタイトルのモーショングラフィックのデザインや企業のCIなど、3次元コンピュータグラフィックスの制作、またその企画、演出も手掛ける。近年では、広告フェスティバル「ADFEST 2016」のオープニング映像や、3Dドームシアター映像「9次元からきた男」の制作に携わる。本ワークショップでは、地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」の新たな可能性や表現方法をさぐる映像コンテスト「Geo-Cosmos Content Contest」で大賞を受賞(2014、2015年)した自身の映像作品についてレクチャーを行う。



**瀬賀 誠一**(株式会社オムニバス・ジャパン / リードデジタルアーティスト)  
3次元コンピュータグラフィックスを駆使したさまざまな形態の映像作品を制作。CM、映画などを中心に活動。3Dドームシアター映像「9次元からきた男」では、CGスーパーバイザーとして参画。本ワークショップでは映像コンテスト「Geo-Cosmos Content Contest」で入選(2015年)した自身の映像作品についてレクチャーを行う。

上記4名の講師のほか、複数の講師が日替わりでレクチャーを開催予定です。ブルームバーグ L.P.の社員がデータ分析と情報発信について、また Google のエンジニアがインターネット検索についてのレクチャーを行うほか、インタラクティブデザインの分野で活躍するクリエイターなどの参加も予定しています。

本プログラムは、ブルームバーグ L.P.のご協賛により、女子中高生の STEM 教育(※3) 発展のために提供されています。 <http://about.bloomberg.co.jp/>



### ※1 ジオ・コスモス

1000 万画素を超える高解像度で、宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出すジオ・コスモスは、日本科学未来館のシンボル展示。有機 EL パネルを使った世界初の「地球ディスプレイ」で、「宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したい」という館長毛利衛の思いから生まれました。画面上を流れる雲の映像は、気象衛星が撮影したデータを毎日とりこんで反映させたもので、リアルな地球の姿を眺めることができます。



※2OECD の報告でも日本の女子が理数科へ進む割合は 14%と他国の先進国に比べても圧倒的に低い状況です。この状況を踏まえ、STEM 教育(※3)への最初のきっかけづくりと、理系のキャリアビジョンの設定、二つの理由から参加者は女子中高生と設定しています。

### ※3 STEM 教育

STEMとは Science、Technology、Engineering、Mathematics の頭文字をとったもの。従来の科学技術教育、理数教育を統合・体系化し、イノベーションを生み出す人材の育成を目指すものです。EU、米国、アジア諸国で、最優先課題としてSTEM教育への取組みが進められています。